

# 自立を目指すしまねの子ども教育（仮称）構想図

〔目標3本柱〕

学力の向上

社会性の育成

ふるさと意識の醸成

創り出す力・切り拓く力を育てる

社会・上級学校

見通す力・やり抜く力・見つめる力を育てる

かかわる力・自ら学ぼうとする力を育てる

高等学校

ふれる力・やってみる力を育てる

中学校

就学前

小学校

- 身近な環境に好奇心をもってふれてみて、発見を楽しんだり考えたりさせる。
- 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わわせる。
- いろいろな遊びの中で、心を動かすようにさせる。
- 身近な人とのふれあいを深めさせ、思いやりや親しみの気持ちをもたせる。
- 良いことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動させる。
- 身近な暮らしの中で、出会いを大切に、豊かな生活体験を行わせる。

- 学力の向上
- 身のまわりの生活や地域との関わりを通して、学びの目的を理解させ、学ぶ意欲を高める。
  - 基礎・基本となる知識や技能習得の必要性を理解させ、その定着を図る。
  - 家庭と連携し、家庭学習の習慣化を図る。
  - 学校図書館を活用し、情報を集める力や読み取る力を育む。

- 社会性の育成
- 返事やあいさつ、時間や約束を守るなどの、基本的なふるまいができるようにする。
  - 様々な活動・体験の中で、自分の役割や責任を果たさせ、役立つ喜びや自尊感情を体感させる。
  - 職場見学等を通して、働くことの意義について考えさせる。
  - 社会と自己との関わりから、自らの夢や希望を膨らませる。

- ふるさと意識の醸成
- ふるさとについて、知る、感じる機会を与えることで、ふるさとへの関心を高める。
  - 英語等の異なる文化に触れさせ、親しみを感じさせる。
  - 地域の教育資源（モノ・ヒト・コト）に触れることで、ふるさとへの愛着を育む。

- 基盤としての健康づくり
- 食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でできるようにさせる。
  - いろいろな遊びの中で伸び伸びと十分に体を動かすようにさせる。

- 基盤としての健康づくり
- 食事、睡眠、運動などの基本的な生活習慣を身に付けさせる。
  - 運動遊びを通して、進んで運動を楽しもうとし、いろいろな運動ができる力を育てる。

- 学力の向上
- 実生活、地域・社会や将来との関わりを通して、学ぶ目的や意義を理解させて、学ぶ意欲を高める。
  - 基礎・基本的知識や技能の習得と定着を図り、それらを活用して、課題を解決する能力を育てる。
  - 自らの進路を考えた、主体的な家庭学習ができるようにする。
  - 学校図書館を活用し、情報を的確に読み取る力、活用できる力を育む。

- 社会性の育成
- 返事やあいさつ、時間や約束を守る等、場や状況に応じたふるまいが意識的にできるようにする。
  - 様々な活動・体験を通して、集団の中での役割や責任の存在を意識させ、人間関係を築く上で必要な力を体得させる。
  - 職場体験やボランティア活動等を通して、勤労観・職業観を高め、助け合って生きる喜びを体感させる。
  - 社会と自己との関わりから、自分の特性に気づき、自分らしい生き方について考えさせ、将来を想起させる。

- ふるさと意識の醸成
- 地域社会の実態に触れる機会を与え、地域と自分とのつながりや社会における課題等への関心を高める。
  - 異なる文化や考え方への関心を高め、コミュニケーション能力を育む。
  - 地域の教育資源を活用した学びを通して、ふるさとへの愛着や誇りを育む。

- 基盤としての健康づくり
- 健康状態に関心を持ち、自らの力で基本的な生活習慣を身に付けさせる。
  - 運動部活動など様々な経験を通して、運動に親しむ資質を育てる。

- 学力の向上
- 学びの先にある社会を意識させ、進路実現に向かってチャレンジしていく意欲を高める。
  - 実社会や自らの将来に役立つ、専門的な知識や技能、情報活用能力を身に付けさせる。
  - 進路実現に向かい、自発的で計画的な家庭学習ができるようにする。
  - 読書を通して感性を磨き、読解力や表現力、想像力を高めるとともに、ICTも活用して情報を収集し的確に対応できる力等を育む。

- 社会性の育成
- 挨拶や時間遵守等、社会で通用するマナーを身に付けさせ、場や状況に応じたふるまいが自発的にできるようにする。
  - 各種の体験的活動を通して、社会に主体的に参画していくために必要な力や態度を育てる。
  - インターンシップや企業見学、職業意識啓発セミナー等を通して、地域社会や事業所等の求める人物像を意識させる。
  - 社会と自己との関わりから、自分の特性を生かして社会貢献できる将来の在り方を、具体的に想起させる。

- ふるさと意識の醸成
- 他地域の実態や異文化に触れるなど、多角的な視点でふるさとを捉えさせることで、ふるさとの魅力や課題に気付かせる。
  - 多様な価値観を理解し、グローバルな視野を持った行動ができるようにする。
  - ふるさとと自分の将来を考えさせるとともに、自身の特性や生き方に応じたふるさとへの貢献の在り方を考えさせ、その意欲を高める。

- 基盤としての健康づくり
- 社会的自立に向けて、自らの力で健康的な生活習慣を身に付けさせる。
  - 運動・スポーツに主体的に取り組むことにより、自らの健康を維持できる実践力を育てる。
  - 生涯にわたって運動を楽しむ力を身に付けさせる。

- しっかり抱き、しっかりほめる。
- 目をしっかり見て話を聞く。
- 早寝早起きなど基本的な習慣づけをする。
- 自然の中で遊ぶなど、本物の体験をさせる。

- しっかりほめ、しっかり諭す（叱る）。
- うなずきながら、話を聞く。
- 自分のことは自分でできるように基本的な生活習慣づくりを促す。
- 自分の良さを知り、その良さを生かすことができるよう励ます。

- しっかりほめ、しっかり諭す（叱り）、励ます。
- 話を真剣に聞き、思いを受け止め、相談に乗る。
- 規律ある、望ましい生活習慣のリズムが確立できるよう促す。
- 自分の良さを生かし、目標に向けて努力できるよう相談に乗り、励ます。

- 最良の理解者として、温かく見守り、支える。
- 人生の先輩として相談に乗り、アドバイスする。
- 自分のことは自分で計画・実践する大人としての生活リズムが確立できるよう支援する。
- 社会の一員として、自分が生かせる目標を持ち、達成に向けてチャレンジできるよう、物心両面で支援する。



家庭のかかわり・役割  
地域の支援

社会的・職業的自立とふるさとへの貢献